

令和4年度
一般社団法人 沖縄県作業療法士会 総会
議案書

期 日：令和4年6月25日（土） 19時～
会 場：沖縄県総合福祉センター 小規模団体室

総会式次第

1. 開会のことば
2. 会長挨拶
3. 議長団選出
4. 定足数報告
5. 書記任命
6. 議事登録署名人任命
7. 議案
第1号議案 令和3年度事業報告
第2号議案 令和3年度決算報告
第3号議案 令和4年度事業計画
第4号議案 令和4年度予算案
第5号議案 理事改選
第6号議案 監事改選
その他
8. 議長団解任
9. 閉会のことば



一般社団法人沖縄県作業療法士会事務局
沖縄県総合福祉センター 西棟2階 小規模団体室内
〒903-0804 那覇市首里石嶺町4-373-1
TEL・FAX 098-988-3711

はじめの挨拶

会長 比嘉 靖

今年は沖縄復帰 50 周年である。今を築いた先人たちの労苦に想いを馳せながら、変わったこと、変わらぬこと、沖縄の現状を共有し発信していく大きな節目となります。

沖縄県作業療法士会にとっても理事任期の変わり目を迎え、新たな船出となる年でもありません。

長期に及ぶ新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が社会生活に深い影を落とす一方、ICT を駆使した新たなコミュニケーションのあり方を模索する動きも活発です。

医療と福祉の向上を掲げ、地域社会に必要とされる人材育成に重点を置き、地域包括ケアシステムの構築と実践を推し進めます。

今一度、沖縄の豊かな自然と文化・歴史と今を見つめ、こころや身体に障がいを持っていても本人らしくいきいきと暮らせる共生社会の実現に向け共に歩んで参りましょう。

一般社団法人 沖縄県作業療法士会 2022 年度 重点活動項目

コロナ禍における地域包括ケアシステムの構築・推進と ICT を活用した資質向上と体制整備

1. 地域包括ケアシステム構築に向けた取組み
 - 1) 認知症、子ども支援、就労支援、自動車運転再開支援などの取組みを進める
 - 2) 地域包括ケアシステムの構築に向けた県・市町村行政との連携を深める
 - 3) 沖縄県リハビリテーション専門職協会などの他団体との連携を深める
2. 会員資質向上に向けた取組み
 - 1) ICT を活用した研修会、学会企画・運営を支部活動とリンクし広く展開する
 - 2) 生涯教育制度や臨床実習指導者講習会の運営を通して県内作業療法士の資質向上
 - 3) 卒前教育のあり方や会員数確保などの課題に取り組める県内養成校との連携強化
3. 組織強化
 - 1) 人事配置を役割分化し事務機能の能率化向上を実現します
 - 2) 日本作業療法士協会と連携し「士会員＝協会員」への道筋を示します
 - 3) 地域課題を共有しネットワークを構築するための支部運営支援

【第 1 号議案 令和 3 年度事業報告】

事務局

総務部

担当理事：宮城哲哉

【士会運営班】

1. 令和元年度 一般社団法人沖縄県作業療法士会総会の開催
令和 3 年 6 月 26 日（土） 沖縄県総合福祉センター
会員総数：729 名 出席会員：515 名（本人出席：3 名 委任状出席：512 名 賛成：511 反対：1）
2. 三役会議の開催
4/13、5/7、6/、7/13、8/10、9/14、10/、11/9、12/14、12/28、1/11、1/27、2/8、3/8
3. 定期理事会の開催
5/11、6/8、6/26、7/20、9/21、11/16、1/18、3/15

4. 定期総会の開催

(渉外活動)

1. 県外開催会議等の参加・派遣

1. 47都道府県委員会 (比嘉靖：県立南部医療センター、他理事)
2. 九州作業療法士会長会士会長会議 (比嘉靖：県立南部医療センター)
3. 九州作業療法士会長会事務局長会議 (三枝秀平：オリブ山病院)
4. 九州作業療法士会長会合同研修会運営委員 (大城圭：琉球リハビリテーション学院)
5. 九州作業療法士会長会合同研修会推薦者 (今田達也：NSP)
6. 日本作業療法士協会代議員 (比嘉靖：県立中部病院、儀間智：琉球リハビリテーション学院、目取真恵子：新垣病院、吉岡美和：沖縄リハビリテーション福祉学院)

2. 県内開催会議等の参加・派遣

- (1) 沖縄県障害者介護給付等不服審査会委員 (末吉珠代：大浜第一病院 訪問リハビリテーションセンター)
- (2) 沖縄県障害児通所給付等不服審査会委員 (仲間知穂：ゆいまわる)
- (3) 沖縄県介護実習・普及センター運営委員会運営委員(金城知子：おもと会本部)
- (4) 沖縄県介護実習・普及センター運営委員会福祉用具専門部会部員 (新里碧：沖縄リハビリテーション福祉学院)
- (5) 浦添市障害者介護給付費等審査会委員 (高良真奈美：宜野湾記念病院)
- (6) 芸術・文化講座開催等事業運営委員会 (宮城哲哉：沖縄リハビリテーションセンター病院)

3. 那覇市介護予防・日常生活支援総合事業 訪問型サービスCへの派遣

(末吉珠代：大浜第一病院訪問リハビリテーションセンター、矢野俊恵：同仁病院)

【人材運営班】

1. 日本作業療法士協会の「協会員＝士会員」実現に向けて2022年10月より履行する予定とのスケジュールに沿っていく。

2. 人材バンクの管理

教育学術局、地域社会局との連携を強化。

3. 令和3年度地域生活支援事業(芸術・文化講座開催等事業) *沖縄県より委託

こころの芸術文化フェスティバルの開催

コロナウイルス感染拡大のため、昨年度に引き続き集合型のイベントを中止し、作品集を制作した。最終的に139点の応募があり、出展された皆様全員に作品集を配布した。

広報事業部

担当理事：大見謝 勝人

担当部長：永山 聖名

副部長：森江 洋暁

1. 事業部会(ミーティング)開催

7月2日、7月30日 リモート会議。(理事、部長、副部長、部員2~4名)

令和4年3月10日。OTカレンダー発送作業。

2. 県民健康フェア(主催：沖縄県医療保健連合) *コロナで中止。

3. 作業療法フェア *コロナで中止

8月~9月、沖縄県作業療法士協会ホームページにて「お悩み何でも相談会」を掲載。

相談数0件。

4. 作業療法カレンダーの作成 A2サイズ 200部

令和4年3月10日、OTカレンダー発送作業。(沖縄県の各高校へ)

場所：沖縄県福祉センター 作業人数：3名。

財務部

担当理事：山城峻

2021年度は新入会員・再入会員52名、会費納入率は95.2%(716名/752名)となりました。

新入会員オリエンテーションをzoomにて開催いたしました。

また、県士会主催の研修会等の講師謝礼について、規定の整理を行いました。

1. 令和3年度予算に基づく収支管理・決算処理

2. 令和4年度収支予算編成

3. 県士会費の徴収、管理

4. 県士会費未納者に対する納入促進

5. 会計事務所との打ち合わせ業務

6. 源泉徴収納税

7. 支払調書発行
8. 新入会員オリエンテーションでの入会手続き作業
2021年5月27日 zoomにて開催(30名参加)
9. 養成校での県士会入会案内
2022年3月3日 沖縄リハビリテーション福祉学院(会長、担当理事)
10. 沖縄県作業療法士会講師謝礼規定の作成

地域社会局

介護保険対策部

担当理事：末吉珠代、知花朋也

(総括)

2021年度も昨年に引き続き、COVID-19の感染拡大の影響で思うように活動できなかった。

今年度は厚生労働省の福祉用具・介護ロボット実用化支援事業の一環である介護ロボット地域フォーラムを受託し、開催した。

沖縄県介護ロボット地域フォーラム

日時：2022年2月21日～23日

場所：オンライン開催

Webサイト訪問者数：278名

シンポジウム参加者数：29名

生活行為工夫情報モデル事業

運営会議

第1回運営会議

日時：2021年7月26日 19:00～20:00 場所：zoom

参加者：4名

第2回運営会議

日時：2021年8月17日 19:00～20:00 場所：Zoom

参加者：7名

第3回運営会議

日時：2021年10月20日 18:00～19:00 場所：Zoom

参加者：6名

第4回運営会議

日時：2022年2月18日 18:00～20:00 場所：Zoom

参加者：8名

地域包括ケアシステム関連研修会

特記なし

子ども支援部

担当理事：大城由美子、久貝直美

コロナ感染の拡大もあり子ども支援部の部会開催は行えませんでした。

次年度に向けた話し合いを担当部員で持ちました。

① 毎月1回の情報交換会の開催

② 人材育成に関して県外県士会の研修参加

「学校を理解して支援ができる作業療法士の育成研修会」ZOOM会議にて参加

1月21日、2月25日、3月4日研修参加

年間を通して

令和3年度には総合支援法の改定があり、就労継続支援 A 型・B 型においても福祉専門職配置加算に OT の職名明記がされたことにより就労支援現場に配置される OT、一人職場の OT が増えることが予想された。そういった状況に県士会としても対応するために、オンラインの強みを活かし、ネットワーク構築を試みた。

また、ピアサポーター配置加算も新設されたため、今後福祉現場ではよりピアサポーターとの協働が求められることが予想される。今年度も、沖縄県からの委託事業であるピアサポーター養成研修を下記の要領で行った。

事業実施報告

① ピアサポーター養成研修

講師：増川ねてる氏 ファシリテーター：坂本将吏氏

方法：オンライン ZOOM を使用

- ★基礎研修 12月9日実施 参加人数 32名
- ★専門研修 12月10日実施 参加人数 28名
 1月13日
- 1月23日
- ★フォロー研修 1月28日実施 参加人数 18名
延べ参加人数 78名

② ピアサポート 活用事業

今年度は実績なし

③ 障害福祉領域研修会

テーマに分かれて語り合おう

コロナ禍だからこそその横の繋がり

- 1、回復期ってどんなところ？
- 2、病院から飛び出して行う支援とその工夫
- 3、私はもっとこんな OT がしたい
- 4、30代のライフプラン・キャリアアップ
- 5、その他、なんでもトーク部屋

日時：令和4年3月22日（火）20:00~21:30

方法：オンライン ZOOM を使用

参加人数：31名

次年度に向けて

今後ますます障がい福祉分野における OT 配置は加速していくことが予想されるため、①会員の配置状況を把握、②福祉領域で OT に求められていることを明確にする、③必要スキル習得のための研修実施、④医療分野、介護分野、産業分野との連携モデルの模索、⑤障がい福祉分野に配置される会員相互交流、が求められる。

まだまだ大人数での企画は制限される状況が続くが、オンラインの強みを活かしながら会員に求められる企画を実施していきたい。については、会員からの直接の要望や意見も募集している。

I・総括

認知症に加え精神部門の施策について対応をする部門として活動を開始しての2年目。
認知症部門は、2 コロナ禍の中での可能な限りの活動を計画実施できた。
精神部門に関しては、運営スタッフも決まっていないため次年度で整備、活動を開始したい。

【認知症施策】

1・認知症作業療法評価研修会

*2年越しの研修会、村島OTR講師の研修会を県OT学会と共同で計画実施が出来た。

2・認知症定期勉強会について

*「認知症を対象に関わっているOTRの分野を超えて学ぶ・繋がる場所を提供できないか。」を課題に、WEBでの勉強会・情報交換会「しゃべり場」を実施。

次年度は、定期的な実施を計画したい。

3・オレンジガーデニングプロジェクトへの取り組み

*県士会会員へのプロジェクトの紹介・参加呼びかけ

*実施報告会の実施(支部運営部との共同計画)

3・認知症の人と家族の会などの家族介護教室での講話

*認知症の人と家族の会カフェのお誘いを受け、会長との顔合わせが出来た。

定期的な参加は、出来ていないため今後も情報共有を忘れずに取り組みたい。

4・定期的な運営ミーティング

【精神部門】

*活動実績なし。

支部運営部

担当理事：新垣進、喜納俊介

1. 沖縄リハビリテーション専門職協会(以下、沖リ専協)との連携

1) 各圏域担当者として各支部長を配置しPT・STとの連携

2) 市町村・包括支援センターから依頼された地域ケア会議、介護予防事業などへ人材バンク登録者を紹介

3) PT・STまたは市町村職員と協働し、研修会の企画・運営に携わった。

2. 令和3年度 支部長会議の開催

日時：令和3年8月12日(木) 19:00~

場所：各施設(ZOOMにてリモート会議)

出席者：比嘉靖、下里綱、新垣進、松田仁孝、喜納俊介、吉門保正、長濱祐樹、斎藤武彦

<プログラム>

① 挨拶 「沖縄県作業療法士会 現状報告」 比嘉靖会長

② 「支部運営方針」 下里副会長

③ 「今後の支部運営について」 支部運営担当理事 喜納俊介理事

④ 各支部活動報告

⑤ 各支部からの要望・希望・提案

3. 各支部活動、会議の開催

<支部運営部>

- ・市町村アドバイザー事業、OT部分の説明を担当
- ・沖縄県作業療法士会 離島フェア2021

<北部支部>

・第1~8回北部支部会議開催

・第1~2回北部交流会開催

その他：名護市地域ケア会議への参加、本部町地域ケア会議への参加。

※名護市・本部町共にリ専協は通さずに市町独自でOTに相談して取りまとめ実施。

<中部支部>

- ・支部会議無し
- ・市町村・地域包括ケアセンターからの依頼に人材紹介
- ・COVID-19×沖縄 OT 事例報告会
- ・第3～8回地域包括ケア×多職種連携フォーラム

<那覇・浦添支部>

- ・支部会議開催（3回）
- ・那覇市要介護度重度化等ケアマネ研究会講師紹介
- ・第4回 在宅医療・介護スクラム塾（多職種連携研修会）の講師派遣
- ・市町村・地域包括ケアセンターからの依頼に人材紹介（大名、松島）

<南部支部>

- ・支部会議無し
- ・市町村・地域包括ケアセンターからの依頼に人材紹介

<宮古支部>

- ・定例会開催：9回（総会を含む）
- ・地域ケア会議参加：8件
- ・専門職相談：3件
- ・オレンジガーデニングプロジェクト
→各事業所での花壇づくり、花紙を使った花飾り作り実施。また宮古毎日新聞社からの取材、新聞掲載。

<八重山支部>

- ・支部会議無し。
- ・市町村からの依頼：石垣市 個別ケア会議 助言者として6月～3月で8回出席。石垣市地域包括支援センターからの依頼による認知症予防講座講師派遣3回実施。

教育学術局

教育部

担当理事：吉岡美和

（総括）

2022年度は COVID-19 の感染拡大が継続する中での研修会、講習会、会議の開催となった。会員が web 開催形式に慣れてきたこともあり、大きなトラブルもなく総計〇回の研修・講習会ならびに〇回の会議を開催することができた。不自由な中でご協力いただいた班員のみならず、講師、受講生の全ての会員に感謝したい。

COVID-19 の影響で、経験 1～2 年目の会員の入会が少なかったこともあり、新年度は多くの会員の受講を期待したい。また、参加者からは web での開催に関しては賛否両論があり、ハイブリッドな開催を求める声も挙がっており、今後の課題のひとつと言える。

I. 生涯教育班

1. 現職者共通研修①の企画・運営 2021/8/29
 - ・「職業倫理」（大濱学さん：オリブ山病院、県士会倫理相談窓口担当）24名
 - ・「作業療法生涯教育概論」（比嘉靖さん：県立宮古病院、県士会長）13名
2. 現職者共通研修②の企画・運営 2021/11/14
 - ・「作業療法における協業・後輩育成」（田村訓明さん：新垣病院）16名
 - ・「作業療法の可能性」（比嘉靖さん：県立宮古病院、県士会会長）18名
3. 現職者共通研修③の企画・運営 2021/12/5
 - ・「実践のための作業療法研究」（西村正彦さん：琉球大学医学部脳神経外科）21名
 - ・「事例報告と事例研究」（嘉数栄司さん：沖縄リハビリテーション福祉学院）20名
4. 現職者共通研修④の企画・運営 2022/3/13
 - ・「日本と世界の作業療法」（吉岡美和さん：沖縄リハビリテーション福祉学院、土田真也さん：おもしろまちメディカルセンター）14名
 - ・「保健・医療・福祉と地域支援」→講師：田村浩介さん（いきがいクリエイション）15名
5. 事例検討①の企画・運営 2021/9/5

- 発表者 5 名、参加者 15 名
 - ファシリテーター 宮城哲哉さん（沖縄リハビリテーションセンター病院）、玉那覇迅さん（嶺井第一病院）、宮城若子さん（琉球大学病院）、末吉静香さん（沖縄中部療育医療センター）
6. 事例検討①の企画・運営 2022/2/6
- 発表者 2 名、参加者 5 名
 - ファシリテーター 宮城哲哉さん（沖縄リハビリテーションセンター病院）、德里尚美さん（天久台病院）
7. 現職者選択研修「老年期障害」の企画・運営 2022/3/27 12 名
- 老年期の基礎知識（井上美和さん：琉球リハビリテーション学院）
 - 老年期作業療法の治療的枠組み（照屋若夏さん：沖縄リハビリテーション福祉学院）
 - 地域生活を支援する（金城和雅さん：豊見城中央病院）
 - 老年期の作業療法実践 トピックス（比嘉美矢子さん：那覇市地域包括支援センター繁多川）
8. 県士会主催研修会の受講者リストの協会システムへの登録
※受講から登録までに時間を要す状況が続いており、令和4年度の改善課題の1つとなっている。
9. 生涯教育制度についての周知・相談対応
- 生涯教育手帳の Web 管理移行に伴う手帳移行支援
 - メール・FA 通信での案内、HP 掲載
 - 手帳処理等の手帳処理
 - 対面 2 件（昨年度からの通算 18 件）
 - 郵送対応 12 件（昨年度からの通算 31 件）
 - 手帳紛失対応 2 件（昨年度からの通算 4 件）
10. 上記運営のための会議 → 定期班会議 12 回開催
11. 日本作業療法士協会 生涯教育制度推進担当者対象会議への出席
- 第 1 回生涯教育制度推進担当者会議→Zoom 開催 2021/4/24
 - 受講登録システム説明会 2021/6/11・12・19・20・25
 - 生涯教育制度推進担当者対象制度勉強会→Zoom 開催 2021/11/13
 - 第2回生涯教育制度推進担当者会議→Zoom 開催 2021/11/13
 - 生涯教育制度推進担当者説明会→Zoom 開催 2022/2/10

II. MTDLP 推進班

1. 基礎研修(第1回)の企画・運営 2022.9.23
2. 事例検討会(第1回)の企画・運営 2022.8.13
3. 事例検討会(第2回)の企画・運営 2022.2.25
4. 九州 MTDLP 推進委員会研修会運営 2020.11.26-27（参加延数 23 名沖縄/253 名）
5. MTDLP 研修制度の周知及び会員相談対応
6. 研修会修了者会員名簿作成及び協会への手続き事務
7. MTDLP 士会推進連絡会議出席
8. 九州 MTDLP 推進会議出席
9. 上記、運営のための定期班会議

III. 臨床実習指導者講習会班

1. 臨床実習指導者講習会 第1回：9/18-19 58 名
2. 臨床実習指導者講習会 第2回：11/13-14 56 名
3. Web 開催のため、事前練習会 8 回
4. 県内養成校との運営調整
5. 上記、運営のための定期会議 7 回開催

学術部

担当理事：大城圭

1. 第 17 回沖縄県作業療法学会
 - 開催日：令和 4 年 2 月 13 日（日）9：00～16：00
 - ※オンライン開催。演題については令和 4 年 2 月 13 日～3 月 12 日を閲覧機関として設定。
 - 配信場所：琉球リハビリテーション学院
 - 申込者数：166 名（当日参加 92 名）

2. 九州士会長会主催リーダー養成研修会 ※会議、研修会等はオンラインにて実施
 令和3年5月19日(水) 運営会議(参加者:比嘉、大城)
 6月10日(木) 運営会議(参加者:比嘉、大城)
 6月20日(日) 九州作業療法学会 in 熊本
 (参加者:比嘉、大見謝、新垣、今田、大城)
 8月2日(月) 運営会議(参加者:比嘉、大城)
 10月25日(月) 運営会議(参加者:比嘉、大城)
 11月11日(木) リーダー育成研修会
 (参加者:比嘉、大見謝、新垣、今田、大城)
 令和4年1月13日(木) 運営会議(参加者:比嘉、大城)
 3月14日(月) 運営会議(参加者:比嘉、大城)

3. 学術誌再発刊

※学術誌作成委員会を発足できず、再発刊に至らず。

常設(特設)委員会

常設委員会

災害対策室

室長:井上 美和

(総括)

2021年度は新型コロナ感染対策を講じながら委員会主催での初めてのWEB研修会を開催する事ができた。開催に当たっては会員、講師を受けて頂いた淡野義長先生へ深く感謝を申し上げたい。

本来なら対面式の講義やグループワークを通して、災害時の医療スタッフの行動指針を学ぶ事により、いざ発災した際に速やかに行動が取れると考えている。よって、今後は、感染拡大の動向を見ながら、北部・離島圏域の会員を含めた対面式やICTを利用したハイブリッド研修運営を検討していきたい。

I. 災害対策委員会

1. 災害対策支援に関する研修会の企画・運営

□令和3年9月25日(土) JAOT 災害訓練実施

理事、監事、各支部長宛へ安否確認

□令和3年10月17日(土) 18:30~20:30

講師:淡野義長 OTR 長崎リハビリテーション病院

テーマ:災害に対する意識付け「コロナ禍における災害対策」研修会 2021

申込者:17名 当日参加者 16名

2. 沖縄 JRAT へ参画

沖縄 JRAT 会議参加 6/30、10/27 ※災害対策研修会報告

3. 会員への災害対策関連の情報発信

4. 災害対策マニュアル整備

5. 上記に係る会議 9/1

選挙管理委員会

委員長:久貝明人

1. 沖縄県作業療法士会監事改選(宇田薫、矢野俊恵:無選挙にて選任)

特設委員会

- 沖縄の移動を考える作業療法委員会

担当理事:平山陽介

委員長:福地弘文

1. 総括

令和3年度においても、コロナ感染対策は継続され、対面での研修や会議は困難を期した。しかし、オンラインでの会議にも次第に慣れ、計画的にできることを着実に実施していくことができた。他県での取り組みや全国的な運転支援の流れに注視しながらも、『ちゅら島の移動を考える会』の活動を中心に、県内の運転支援関連機関との共通理解を深めていくことと、連携強化を図っていくことが重要であると考えている。

来年度は、自動車学校と医療機関との情報交換シート(連携シート)の作成、会員から寄せられる質問

に答える仕組みの確立、事例検討を通じた支援方法の提示と検討会、改造車両への研修会を実施していきたい。

2. 実施事業

- ① 自動車学校の障がい者支援に関する現状把握アンケート回収とまとめ
内容：障がい者の運転評価の受け入れ状況、実車評価の課題、医療機関への要望 等
アンケート実施日：令和3年4月
アンケート回収日：令和3年5月
- ② ちゅら島の移動を考える会（当会員と自動車教習所指導員の会）
内容：・医療機関と自動車学校の現状と課題の共有、
・高次脳機能障害の説明と検査について手の勉強会
・連携事例検討
実施日：令和3年6月25日、9月22日、12月7日
- ③ 沖縄県高次脳拠点機関研修会（共催）
テーマ：失語症者に対する自動車運転再開支援リハビリテーション
講師：佐藤卓也氏（新潟リハビリテーション病院：言語聴覚士）
実施日：令和3年11月12日 実施方法：オンライン 参加者：86名（内OT：25名）
- ④ 運転と作業療法委員会 都道府県士会協力者会議 参加
内容：各都道府県の障害者への運転支援の現状の報告。九州ブロックのOTとディスカッション
実施日：令和4年1月22日

【第2号議案 令和3年度決算報告】

- (1) 別紙参照（一般社団法人 沖縄県作業療法士会 ホームページ掲示予定参照）

【第3号議案 令和4年度事業計画】

事務局

【総務部】

I. 士会運営班

- 1) 定期総会の開催（年1回 事業年度了後3ヵ月以内）
- 2) 三役会議の開催（年6回～12回 開催予定）
- 3) 定期理事会の開催（年6回～12回 開催予定）
- 4) 他団体との渉外
 - ①日本作業療法士協会 47委員会への参画（3回/年）
 - ②九州作業療法士会会長会への参画（3回/年）
 - ③九州作業療法士会会長会事務局長会議への参画（1回/年）
 - ④なごみの会
 - ⑤その他

*47委員会への参加（オブザーバー参加も含む）

*九州士会会長会主催会議、研修会への参加（派遣）

*その他

II. 人材運用班

- 1) 協会員＝士会員の順守
 - ①新卒者にQRコードの活用促し（新入会説明会、養成校での説明）
 - ②協会登録情報の更新（改姓、職場異動等）をHP、FAXにて促す
- 2) 沖縄県委託事業と精神科関連施設との連携
芸術・文化開催等事業における「こころの芸術・文化フェスティバル」を通して、精神科病院ならびに地域施設との連携強化を図ると共に、精神科関連作業療法士への県士会員促進を図る。
- 3) ICT推進班の運用
コロナ禍におけるICTの活用普及を目的に、各部局との連携を図る。

【財務部】

1. 令和4年度予算に基づく収支管理・決算処理
2. 令和5年度収支予算編成
3. 県士会費の徴収、管理
4. 県士会費未納者に対する納入促進
5. 会計事務所との打ち合わせ業務
6. 源泉徴収納税
7. 支払調書発行
8. 新入会員オリエンテーション（zoom開催）
9. 養成校での県士会入会案内

【広報事業部】

1. 事業部会（ミーティング）開催
2. 県民健康フェア（主催：沖縄県医療保健連合）：OT紹介パネル展示、自助具展示、自助具体験
3. 作業療法フェア： 作業療法・作業療法士の紹介、作業療法体験コーナー、相談コーナー、ミニ講座（第1回 11:30～12:00、第2回 14:00～14:30）
4. 「見つけよう無限の可能性」（子供たちの居場所作り：仮） 内容：自助具展示、自助具体験
5. 作業療法カレンダーの作成（A2サイズ 250部）（ホームページ管理、YouTube等への変更あり）
6. 芸術・文化講座開催等事業（こころの芸術文化フェスティバル：沖縄県委託事業）
7. 広報活動（ホームページ、SNS）

地域社会局

【支部運営部】

1. 支部長会議、支部会の年4回開催（内3回はWeb会議、1回は対面式）、令和4年4月～令和5年2月内で開催予定。
2. 各支部で支部会議を開催し活動内容を立案（令和3年度下半期～令和4年度上半期）
具体的な内容を実施（立案時期もしくは令和4年度下半期にて）

【障がい福祉対策部】

1. ピアサポート研修（沖縄県委託事業）
2. ピアサポート活用事業（沖縄県委託事業）
3. ピアサポート啓発研修
4. 障害福祉領域研修

Ⅱ. 移動班

1. ちゅら島の移動を考える会で情報交換会（連絡協議会）の継続（年3回）
2. ちゅら島の移動を考える会で連携シートと実車評価シートの作成
3. ちゅら島の移動を考える会を通じて免許センターや警察との連携への準備
4. 沖縄県内の運転支援に関わるOTからのQ&Aに対応できる手段の確立（窓口・メール）
5. 事例検討会（年間2回：30分×2症例×2回）
6. 沖縄県内医療者向けの現状把握アンケートのフォロー

【地域推進部】

1. 地域包括ケア関連研修
2. 日常生活工夫情報事業会議（日本作業療法士協会事業）
3. 通所・入所系OT連絡会

【精神・認知部門推進部】

《認知症部門》

- 1 認知症の人と家族の方の家族介護教室での講話
「ひまわりカフェ」への参加。（2021年度は、会長との顔つなぎができた）
「認知症の人と家族会」の2022年度の計画予定を確認・把握し計画。
- 2 認知症定期勉強会・・・認知症 『しゃべり場』
2021年度 定期勉強会『しゃべり場』を計画。
2022年度も定期的に実施する（年3～4回）
今年度も、感染状況をみながらWEB開催での計画。
状況をみながら可能なら対面での実施も検討。
- 3 認知症部門研修会の開催
2021年度は、村島 OTR に講師を依頼し、WEBでの研修会の開催に向けて動いていたが、沖縄県作業療法学会での「教育講演」という形での研修会実施予定。
※2022年度は、認知症定期勉強会『しゃべり場』などからテーマをつのり研修会を計画予定。

《精神科部門》

- 1 精神科定期勉強会の実施（年2～3回）
2021年度は、認知症部門での定期勉強会『しゃべり場』を企画、実施できた。
2022年度は、精神科部門での定期勉強会『ゆんたく会』を企画。
評価・アクティビティ・実践報告など会員の関心のある事項を確認し実施に向け計画する。
- 2 精神科部門研修会
2022年度は、定期勉強会『ゆんたく会』などからテーマをつのり研修会を計画予定。
- 3 その他
精神科部門の実行委員が不在のため実行委員を募り企画運営に向け活動する。

【こども支援対策部】

1. 沖縄県内の子どもに関わる作業療法士の現状把握とつながる事
 - ・ 定期的な情報交換会（2～3ヶ月ごとに開催）
 - ・ 事例検討会
 - ・ ミニミニ講義
2. 地域で活躍できるOTの人材育成
 - ・ 学校を理解して地域で活躍できるOT育成研修報告会
 - ・ OT育成に向けたタイムスケジュールの作成
 - ・ 学校を理解して地域で活躍できるOT育成研修会

教育学術局

【学術部】

1. 第18回沖縄県作業療法学会
開催時期：令和5年2月予定
※安全な開催を目指し、オンラインでの学会を検討。対面やハイブリッドも視野に入れ計画していく予定。
令和4年2～3月に第18回沖縄県作業療法学会実行委員会を予定
2. 九州士会会長主催リーダー養成研修会
令和4年4月：リーダー養成研修会運営会議
6月：佐賀九州作業療法学会参加（事業計画の最終報告）
10月：九州士会会長主催リーダー研修会
3. 学術誌再発刊
令和4年4月：学術誌作成委員会発足
11月：定款案作成
令和5年3月：発刊
※次年度で委員会を発足し、再発刊に向けた取り組みを行っていきたい。

【教育部】

I. 生涯教育班 年間事業計画

1. 現職者共通研修（第1回）の企画・運営
2. 現職者共通研修（第2回）の企画・運営
3. 現職者共通研修（第3回）の企画・運営
4. 現職者共通研修（第4回）の企画・運営
5. 事例検討・報告会（第1回）の企画・運営
6. 事例検討・報告会（第2回）の企画・運営
7. 現職者選択研修の企画・運営
8. 生涯教育サポーター講習会の企画・運営
9. 県士会主催研修会の受講者リストを協会システムへ登録
10. 生涯教育制度についての周知・相談対応
11. 上記運営のための会議

II. MTDLP 推進班 年間事業計画

1. MTDLP 基礎研修会（第1回）の企画・運営
2. MTDLP 事例検討会（第1回）の企画・運営
3. MTDLP 事例検討会（第2回）の企画・運営
4. MTDLP 研修制度の周知及び会員相談対応
5. 研修会修了者会員名簿作成及び協会への手続き事務
6. MTDLP 士会推進連絡会議出席
7. 九州 MTDLP 推進会議出席
8. 上記、運営のための定期会議

III. 臨床実習指導者講習会班 年間事業計画

1. 厚生労働省認定臨床実習指導者研修企画・運営（1回）
2. 指導者講習会受講者のフォローアップ研修の企画・運営
3. 県内養成校との運営調整（協議体の設立を検討）
4. 県理学療法士協会との情報交換
5. 臨床実習指導者研修の周知及び会員相談対応
6. 上記、運営のための定期会議

令和4年度 予算案

自 2022年4月1日
至 2023年3月31日

【収入の部】

(単位:円)

大科目	小科目	予算額	備考
会費収入 雑収入	正会員会費収入	5,950,000	7,000円×850名
	雑収入	0	受取利子等
	前期繰越金	1,500,000	
収入計		7,450,000	

【支出の部】

(単位:円)

大科目	中科目	小科目	予算額	備考
管理費	法人運営費	計	4,082,000	
		旅費交通費	260,000	役員交通費
		会議費	42,000	業務打ち合わせ茶菓子代
		通信運搬費	220,000	インターネット回線、郵送代、電話・FAX代
		消耗品費	80,000	事務用品購入
		図書印刷費	30,000	総会議案書他
		水道光熱費	30,000	事務局水道光熱費
		賃借料	70,000	事務局福祉センター利用料
		給与手当	2,000,000	事務員給与
		法定福利費	400,000	社会保険料
		負担金	780,000	九州士会会長会・沖リ専協負担金
		租税公課	70,000	法人県民税、法人市民税
		委託費	100,000	口座引落関連
	財務部運営費	計	473,000	
		旅費交通費	5,000	役員交通費
		会議費	1,000	業務打ち合わせ茶菓子代
		図書印刷費 委託費	27,000 440,000	会費納入シール 会計事務委託
	選挙管理委員活動費	計	10,000	
		通信運搬費	10,000	郵送代
	倫理委員会活動費	計	5,000	
旅費交通費 会議費		4,000 1,000	役員交通費 業務打ち合わせ茶菓子代	
災害対策委員会活動費	計	120,000		
	旅費交通費	30,000	役員交通費	
	会議費	80,000	災害対策研修会	
	負担金	10,000	沖縄 JRAT 負担金	
事業費	学術部活動費	計	185,000	
		図書印刷費	100,000	学術誌発行
		補助費	85,000	学会補助費
	教育部活動費	計	143,200	
			83,200	現職者研修・事例検討会
			50,000	MTDLP 基礎研修、事例検討会
			10,000	臨床実習指導者研修
	広報・事業部活動費 (県民健康フェア、OT フェア)	計	546,000	
		旅費交通費	142,000	役員交通費
		通信運搬費	45,000	郵送代
		消耗品費	100,000	事務用品、作業療法推進フェア用品購入
		図書印刷費	221,000	作業療法フェアポスター
		渉外費 負担金	2,000 36,000	作業療法フェアお礼 県民健康フェア、その他運営費
	支部運営部活動費	計	243,500	
		支部活動費	150,000	各支部事業、会議
		旅費交通費	93,500	宮古・八重山渡航費、支部長会議
地域推進部活動費	計	84,500		
	旅費交通費	38,500		
	賃借料	30,000	会場借用代、その他	
	講師謝礼金	6,000		
	図書印刷費	10,000	資料代	
子ども支援部	計	166,000		
	旅費交通費	30,000	会議交通費	

	講師謝礼金	60,000	県内講師 5 名
	賃借料	6,000	1000 円×6 か月
	消耗品費	50,000	事務用品購入
	通信運搬費	20,000	zoom、FAX
	障がい福祉対策部活動費	計	76,500
	諸謝金	60,500	
	会議費	16,000	部会交通費 500 円×4名×8回
	精神・認知症施策推進部活動費	計	84,500
	活動費	84,500	精神・認知症勉強会、研修会開催
	沖縄の移動を考える作業療法委員会	計	82,500
	旅費交通費	82,500	旅費交通費
	特別会計	計	720,000
	補助費	180,000	現職者研修・事例検討会
	補助費	165,000	MTDLP 基礎研修、事例検討会
	補助費	375,000	臨床実習指導者研修
予備費	予備費	428,300	
支出計		7,450,000	

(一社)沖縄県作業療法士会

【第5号議案 理事改選】

1. 別紙参照 (一般社団法人 沖縄県作業療法士会 ホームページ掲示予定参照)

【第6号議案 監事改選】

1. 別紙参照 (一般社団法人 沖縄県作業療法士会 ホームページ掲示予定参照)